

# 第三次長野市スポーツ推進計画(案) に対する市民意見等の募集結果

令和4年1月

文化スポーツ振興部スポーツ課

## 1 趣旨

第三次長野市スポーツ推進計画の策定に当たり、計画（案）に対して市民の皆さんから広くご意見等をいただき、それらを考慮した上で、計画づくりの参考とするもの

## 2 募集期間

令和3年11月26日（金）から12月20日（月）まで

## 3 募集方法

書面または電子メールで募集

## 4 計画案の公表方法と意見募集案内

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| (1) 記者会見     | 令和3年11月24日（水）      |
| (2) 窓口での閲覧   | スポーツ課、行政資料コーナー、各支所 |
| (3) 市ホームページ  |                    |
| (4) 広報ながの    | 令和3年12月号           |
| (5) 関係団体への案内 | スポーツ関係団体           |

**1 意見提出者 8名**

**2 意見等件数 12件**

**3 計画案に対する意見・提案への対応**

対応区分	対応方針	件数
1	計画案を修正する	1
2	計画案に盛り込まれており、修正しない	3
3	計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする	6
4	計画案に盛り込まれていないが、修正しない	0
5	その他（質問への回答や現状説明）	2

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
1	<p>スポーツ活動を計画的、効率的に行う事は大変重要なことです。昔の国語の教科書に『君たちの天分を生かそう』というのがありました。誰にも能力はあるが、100m14秒ぐらいにするには良いコーチが必要。中国にも同じような意味で「千里の馬は常にあれども伯楽は常にはあらず」長野県でも駅伝は大変強いのですがこれは昔からの先生、コーチが充実しているからだと思います。子供に教える体制づくりだけでなく指導者のレベルアップにもっと力を入れてほしいです</p>	<p>指導者のレベルアップの観点から、第4章 施策1-4 (2) ①aに「指導者のインテグリティ（誠実性、健全性、高潔性）の向上やコンプライアンスの徹底などを促進します」を追加します。</p>	<p>計画案を修正する</p> <p>本編37頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
2	<p>長野県の健康寿命をみると中位の位置にいて実際には老後、社会から閉ざされた時間が長いということではないでしょうか。実際、お年寄りの運動への関心は高いとは言えず限られた人のみです。フレイルという言葉の重要性があまり知られておらず、自分自身の現在の体力、健康状況も把握できていません。フレイルの重要性をもっと知ってもらう講習会、勉強会を多く開催し更にフレイルチェック出来る機会を多く取って自分の健康状態を知ってもらい今後どうすればいいかの相談に持って行ってほしい。また、総合病院での血液検査が安く受けやすくすることで健康状態チェックできるのではないのでしょうか。</p>	<p>スポーツを通じた健康増進については、第4章 施策1-3 (1)に記載のとおりで、関係機関や関係課と連携し、健康寿命の延伸に繋がるスポーツ活動の場を提供してまいります。</p>	<p>計画案に盛り込まれており、修正しない</p> <p>本編33頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
3	R4年度からスタートする総合型クラブの「登録・認証」制度に対する長野市の対応を含めて、総合型クラブの地域におけるプレゼンス向上の具体策が欲しい	「登録・認証」制度については、県のスポーツ協会で検討中です。総合型地域スポーツクラブとの連携の推進については、第4章 施策1-2(1)に記載のとおりで、積極的な連携や協働を図ることで、安定的な運営を促します。	計画案に盛り込まれており、修正しない  本編30頁
4	平成12年設立のスポコミさん以降長野市内には現状5つのクラブしか設立されていない。地域スポーツの振興には総合型クラブが、行政と連携して果たす役割は極めて大きいと考えます。 総合型クラブ（様々な形態があって良い。・・・）創設に向けて長野市の具体的な支援策が欲しい。	総合型地域スポーツクラブとの連携の推進については、第4章 施策1-2(1)に記載のとおりで、設立に向け情報提供するなど、引き続き総合型地域スポーツクラブの創設を支援してまいります。	計画案に盛り込まれており、修正しない  本編30頁

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
5	<p>双子幼児の母です。幼児対象スキー親子ペアリフト券や一回リフト券を格安で提供してもらいたいです。幼児のため一日中スキー場にいるのは無理です。市報やその他クーポン券には一日リフト券の優待しか無く、現実的ではありません。自分が幼児期から親にやらせてもらった事と同じように子供にスキーを体験させたく、何度かスキー場に趣きました。ですがスキーレンタルなどにもお金がかかる点、また親が確実に同伴しなければならないので大人料金ももれなくかかります。そのような事でスキーを始められない方もおります。幼児の身体能力の発達、経験のためにも、せっかく長野にいる子供たちが気軽に始められるような環境作りをお願いしたいです。</p>	<p>冬季スポーツに親しむ機会の創出については、第4章 施策1-1 (1) ②bに記載のとおりで、今後の取組を推進する中で、気軽に冬季スポーツに親しめる環境づくりに努めてまいります。</p> <p>また、親子でのスキー体験の機会を増やすために、長野市内小学生を対象に一定期間リフト代の無料化を試験的に実施する予定です。</p> <p>なお、幼児は現在も無料となっています。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする。</p> <p>本編25頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
6	<p>長野パルセイロの練習場について、新規の建設と整備を望みます。現在、サッカーのプロチーム：長野パルセイロ、長野パルセイロ・レディースの練習場は、屋島の千曲川リバーフロント・スポーツ・ガーデンにあります。この練習場は、千曲川の堤防の外側の河川の高水敷にあるため、2019年台風19号や、2021年8月のお盆の大雨の時には、水浸しになってしまっていて、しばらくの間、練習を行うことができませんでした。プロサッカーの練習場としては、こんな河川敷にあって、洪水で水浸しになるような場所は、ほとんど聞いたことがありません。以前、さいたま市に住んでいたことがあります。さいたま市は、浦和レッズ、大宮アルディージャのホームタウンです。浦和レッズの練習場・大原サッカー場は、以前は、さいたま市所有の空地だった場所に、天然芝の練習場を整備したものです。長野パルセイロについても、もっとまともな練習場の建設・整備を望みます。</p>	<p>スポーツ振興、地域の活性化を図る上で、地域密着型プロスポーツチームとの連携・協力は不可欠です。</p> <p>スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理運営については、第4章 施策 1-5 (2) ②に記載のとおりで、利用者にとって快適性を高める改善を実施します。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする</p> <p>本編40頁</p>



No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
7	<p>長野市営陸上競技場については、当面、大規模改修は困難と思いますが、現段階で練習や競技会運営を行っていく上で課題点を上げさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨漏りがひどい箇所がある。（予備備品庫）</li> <li>・競技会運営に必要な用具等が増えているため、本来の機能が果たせない場所がある。（トレーニングルーム、北会議室が物置化している。）</li> <li>・来年度、松本の信州スカイパーク陸上競技場が改修となるため県内の競技会が長野市営陸上競技場で行われることになる。県障がい者大会も東北信大会が行われるわけだが、開催日が雨天の場合雨をよける場所が大変少なく心配が残る。（トレーニングルーム、北会議室が本来の機能を果たしていれば開放可能）</li> <li>・他にも廃棄できるものが多く場所をとっている。一度整理し、倉庫等でまかなえる場合は、増設を希望する。</li> <li>・サブトラックが土のため、雨天時の競技会でのウォーミングアップに支障がある。中央階段を上ったメインスタンド裏全体を、簡易な全天候タイプにすることで使い勝手が良くなる。また、雨天時の、競技者・観客の居場所が少なく、テントでは対応しきれない。簡易な雨よけの屋根がかけられる場所をつくる工夫ができないか。</li> </ul>	<p>陸上競技場については、第4章 施策1-5（2）①②に記載のとおりで、利用者ニーズを把握し、施設の整備・改修、設備等の改善に反映していきます。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする</p> <p>本編39、40頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
8	<p>グラウンド・ゴルフの愛好者の大半は後期高齢者です。グラウンド・ゴルフは「スポーツに人を合わせる」のではなく、「人にスポーツを合わせる」のが特徴で「いつでも・どこでも・だれでも」年齢・性別・障害の有無を問わず世代を超えて楽しめ、他のスポーツ競技団体では見られない90才を超えた方も大会に参加しプレーを楽しめる「生涯スポーツ」です。まさに人生100年時代も夢ではないと感じています。限られた大会だけでは日常的に運動が出来ず、練習の場が一つもなく環境が整っていないのが現況です。公共施設の適正配置を望みます。居住エリアに近い場所に専用のグラウンドがあれば自分の体力に応じた練習が毎日出来ます。また観光とのセットで他県からも愛好者を呼ぶことが出来、市内外の人達との交流を楽しみにしている愛好者は沢山おります。健康増進、健康寿命延伸、フレイル予防の観点からも常設のグラウンド・ゴルフ場の設置を是非お願いいたくご提案申し上げます。</p>	<p>グラウンドゴルフ場の設置については、第4章 施策1-5に記載のとおりで、利用者ニーズを把握し、調査研究してまいります。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする</p> <p>本編39頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
9	<p>スポーツを始める時期を考えると3歳から10歳ぐらいの所謂ゴールデンエイジの時にどのようにきっかけづくりをしてあげるかが大事だと思います。現状は運動を始めるのに一番の壁になるのが両親ではないでしょうか。子の行動の為に自分の時間が取られるのが嫌、子供には勉強が出来る子になってもらうのに運動は弊害等の考えが有ります。保育園、幼稚園などでの運動と知能発達関係など親への勉強会を数多くやることにより、運動への参加促進になるのでは</p>	<p>スポーツを始めるきっかけづくりについては、第4章 施策1-1（1）（2）に記載のとおりで、今後の取組を推進する中で参考とさせていただきます。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする</p> <p>本編25、26頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
10	<p>オリンピック施設へのネーミングライツの導入を進めていただきたい。主なるオリンピック施設としては、エムウェーブ、ビッグハット、ホワイtring、長野オリンピックスタジアム、アクアウィングがあります。これらの年間維持管理費用は、約6億円になるようです。スポーツの施設については、施設の命名権（ネーミングライツ）の導入を行うケースがあります。オリンピック施設については、この施策を積極的に進めるべきです。ネーミングライツも、いろいろな相場があるようです。FC東京の味の素スタジアムは5年間で約10億円だそうです。年間数千万円程度もあるようです。長野市内や長野県内の企業だけではなく、全国から募集するのも、一つの方策だと思います。</p>	<p>オリンピック施設にネーミングライツを導入すると、「オリンピック」の名称使用や「エンブレム」の使用ができなくなります。オリンピック開催都市の本市としては、オリンピックムーブメントを推進していく上で、ネーミングライツの導入は考えていませんが、維持管理費用確保の一つの方策として参考とさせていただきます。</p>	<p>計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討または参考とする</p> <p>本編46頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
11	<p>私の住む地域にある城山市民プールは、これまで、近隣の子どもたち、家族連れ、仕事帰りの成人、泳ぐことを楽しむ成人が、毎夏利用してきました。</p> <p>子どもにとっては、近くにあって行きやすく、利用料が高くなく、地域の友だちと楽しみながら水泳に親しむことができる貴重な場所です。夏休み中、共働きの親を持つ小学生は普通、児童センターに缶詰めになってしまいましたが、近くの市民プールなら、友だち同士で誘い合い、高学年の子と一緒に、あるいは親が順番で付き添って、行かせることができます。行きやすい市民プールだからこそ、子どもたちは毎日のように通い、知らずに体力をつけ、水泳を覚え、地域の人との交流も深まっています。</p> <p>泳ぎが好きな大人の方が（または健康のために）通っている姿、ナイター営業を利用して泳いでいる方もいらっしゃいます。仕事帰りにわずかな時間で行けること、スポーツクラブのようなお金がかからないことなどが、こうした人たちが通う理由ではないかと思えます。</p> <p>城山市民プールがなくなってしまうと、このような人たちにとって、事実上、水泳の機会がほとんどなくなってしまうと思えます。</p> <p>サンマリーンは遠く、利用料が高く、日々の体力づくりに使える施設とは言えないと思えます。北長野、南長野運動公園なども、車が運転できること、近くに住んでいること、などの条件の整わない立場の人には日常的に利用することは難しいです。水泳教室、スポーツクラブなどに入ることは、当然、ほかの習い事や予定との兼ね合いもありますし、費用のかかることであり、利用できる人は限られます。いずれも、誰もが気軽にスポーツに親しむ機会として、市民プールの代わりにはなりません。</p> <p>「健康づくりや成人病予防」、「高齢者の生きがいづくり」、「余暇時間の有効活用」「子どもの体力づくり」と言ったスポーツ振興を進めるために、身近で手軽に利用できる施設こそ、必要なのではないのでしょうか。</p> <p>様々なことを考慮されてのご判断とは思いますが、以上のような理由から、城山市民プールは廃止ではなく、改装、再開していただけるようにご検討いただけますよう、切にお願いいたします。</p>	<p>城山市民プールについては、長野市公共施設個別施設計画【市民プール編】及び城山公園の再整備計画により廃止が決定し、一帯はふれあいの森ゾーンとして再整備してまいります。</p>	<p>その他（質問への回答や現状説明）</p> <p>本編39頁</p>

No.	いただいたご意見・ご提案	対応(事務局案)	対応内容
12	<p>Mウエーブの隣に通年型のアイスリンクをお願いします。客席はなくてもいいと思います。着替え室と暖房室は備えてください。</p> <p>37ページ(2)競技力の向上 ② スケート競技の普及と選手強化を支援しスケート競技の拠点化を推進します。賛成です。</p> <p>私は冬に大人になってからのフィギュアスケートを月2回先生に習いながら頑張ってMウエーブに通っています。年齢も上がりつつあるので、冬の4か月ちょっとではなかなか上達しません。</p> <p>外リンクはスピードの専用になっているため、ホッケーリンクは競技を目指しているフィギュアスケート選手と一般としてのフィギュアスケート靴を履いてる人、アイスホッケー靴の人、スピードスケート靴で様々で氷も痛みます。混雑もします。</p> <p>長野市もオリンピックから20年以上経っても、フィギュアスケート専用の通年型リンクがなく、選手も育ちにくいです。せめて毎年、全日本に出場できるぐらいの力をつけてもらいたいです。</p> <p>これからのフィギュアスケート発展のためにも通年型アイスリンクを計画してもらえるとありがたいです。</p>	<p>オリンピック・パラリンピック開催を契機とした有形無形の財産を活用して、引き続きスケート競技の拠点化を進めていきます。</p> <p>通年リンクの設置については、第4章施策1-5に記載のとおりで、利用者ニーズを把握し、調査研究してまいります。</p>	<p>その他（質問への回答や現状説明）</p> <p>本編37、39頁</p>